

機械警備対象箇所一覧 及び 特記事項

1 警備対象箇所一覧

ブロック No.	棟名	階	室名	空間センサー	マグネットセンサー	金庫センサー
1	A棟	1階	事務室（警備対象金庫2台あり）	2	20	2
			倉庫（警備対象金庫1台あり）	1	4	1
			校長室	1	6	0
2	A棟	2階	職員室	3	4	0
			放送室	1	2	0
3	A棟	3階	進路指導室	1	4	0
4	C棟	1階	生物準備室	2	2	0
5	C棟	2階	視聴覚準備室	1	3	0
		2階	コンピュータ室	1	4	0
6	C棟	2階	化学準備室	1	3	0
計				14	52	3

※1 各ブロックが独立してセット（解除）ができること。

※2 事務室内に各ブロックのセット（解除）状況が把握できる表示システムを設置すること。

※3 事務室内に設置された自動火災報知設備受信盤から火災発報信号、漏電発報信号、受水槽満減水異常発報信号についても24時間監視すること。

※4 警備システムにかかる基地局との通信回線は、事業者によりモバイル機器を設置し、信号を送出すること。

2 特記事項（追加項目）

- (1)校舎(A棟)東側の職員用玄関扉1箇所に電気錠を設置する。
電気錠はテンキー操作により開錠し、自動で施錠を行える仕様とすること。
- (2)体育館2階の体育教官室外部扉に電気錠を設置する。
電気錠はテンキー操作により開錠し、自動で施錠を行える仕様とすること。
ただし日中は扉の開閉毎にオートロックされないよう設定できること。
- (3)生徒昇降口扉1箇所にタイマー付き電気錠を設置する。
受注者によりスケジュール入力を行い、設定時刻に自動施錠・解錠を行える仕様とすること。
- (4)職員室前にテンキー操作により開閉できるキーボックスを設置する。
大きさは最低限、職員室扉の鍵1本と機械警備セット解除用カード1枚が収納できる仕様とすること。